



Facebook 配信中!  
今すぐアクセス!!



牧之原市議会だより

第 71 号

令和5年8月15日発行  
(2023年)

6月定例会号

# かけはし



- 6月定例会における質疑をチェック! . . . . . 2
- 議員10人が市長に問う!(一般質問) . . . . . 7
- 市民から生の声を聞く!(市民会議) . . . . . 17

細江保育園 夏まつり!

# 議案への質疑を

## チエツク!

入札を辞退した理由は

### 議案への主な質疑

牧之原市多目的体育事務用備品の売買契約について

契約金額4510万円で静和事務機株式会社と契約するもの。

牧之原市多目的体育館体育用備品の売買契約について

契約金額6490万円で大沢スポーツと契約するもの。



建設中の牧之原市多目的体育館メインフロアの完成予想図

**問** 入札参加者の辞退が議案第29号では6者のうち2者、議案第30号では5者のうち1者であるが、いつの時点での辞退なのか。また辞退の理由は

**答** 入札執行前の前日または当日に辞退届が提出されている。辞退の理由は、規程において理由を求めておらず把握していない。ただし、議案第29号の指名業者のうち1者は、「取り扱いのできない商品があるため」と示している。

牧之原市印鑑条例の一部を改正する条例

コンビニエンスストア等に設置されている多機能端末機により、印鑑登録証明書を発行する際、本人確認をスマートフォンに搭載された電子証明書でも可能とし、利用者の利便性が向上するように改正するもの。

どのような利便性があるのか

**問** 条例改正でどのような利便性があるのか。またマイナンバーカードのトラブルに関し、市でも点検する必要があるのか

**答** マイナンバーカードを所持していなくても、スマートフォンでコンビニ交付等を受けられる。国の各省庁で情報を管理しており、そちらでチェックをする。国民健康保険および後期高齢者医療保険以外の医療保険について、入力ミスが発生している。



スマートフォンに搭載された電子証明書からも本人確認が可能に

### 討論

牧之原市印鑑条例の一部を改正する条例

(大石議員)

#### 反対

自治体によっては印鑑登録証明書や住民票の写しが、どこからでもスマートフォンで申請でき、自宅に郵送されるサービスが始まっている。これに比べて、マイナンバーカードを所持しなくてもスマートフォンでコンビニ交付ができる程度であり、利便性の向上という点では効果がない。本条例改正は見送り見直すべきである。

#### 賛成

今回の改正により、マイナンバーカードを携帯していなくても、スマートフォンからコンビニ等に設置されている多機能端末機を使用して印鑑登録証明書を発行できるようになる。今後は、その他のさまざまな手続きについても、スマートフォンからの利用が予定されており、市民の利便性の向上につながっていくものと考ええる。

### 市政に対する

#### 総合的な質疑

御前崎港の客船誘致について

**問** 今回の客船誘致についての分析と課題について伺う

**答** 客船入港時、約1300人が下船し、市内外を観光した。シャトルバスを用意し、市内ではグリーンピアに275人、カタシヨアの体験に120人という結果が出ている。バスの待ち時間が長かったこと、いかに市内に誘導するかということが課題であり、今回の客船寄港に向けて検討していく。



今年4月に御前崎港へ寄港したウエステルダム号

道の駅に関する

指定管理者の公募の状況は

**問** 5月31日が締め切りとなっていた道の駅指定管理者に関する公募の申請件数は

**答** 同日応募を締め切り、7者が提出をしているという状況である。

DX推進体制の強化について

**問** 生成AI(チャットGPT等)が急速に広まる中、プライバシー保護、学校教育における利用、著作権、なりすまし詐欺等への対応をどのように考えているか

**答** 今後国から方針等が出てくるので、CIO補佐官にも助言をいただきながら方針を決めていきたい。学校教育に関しては、5月の校長会において、市の教育基本理念との関係について話をしたところである。



※CIO Chief Information Officerの略。機関における最高情報責任者のこと。

榛原地区の花火大会について



令和4年9月に開催されたさがら海上花火大会

**問** 令和5年度の花火大会における日程および内容は

**答** 誘客キャンペーンが始まる7月15日前後、そして観光客が一番多いお盆の時期ということとで考えている。内容としては、花火大会というような会場を設定しての開催ではなく、コロナ禍においてのサプライズ花火と同じ考えで実施したいと考えている。

榛原学園との協議状況について

**問** 榛原学園を、市が設置した保育園の運営の担い手にふさわしくないと判断しているにもかかわらず、毎月1000万円の指定管理料が支払われていることは不自然であり、全くとって不合理極まりない異常な状態と考えるが

**答** 榛原学園は細江保育園の指定管理を行うにふさわしくない法人であり、今年度末までで契約を打ち切りたいという考え方で調整している。

マイナンバー制度について

**問** マイナンバーの事業に関して、全国的にトラブルが発生しているが本市の状況はどうか

**答** 全国においては、銀行口座へのひも付けや保険証の情報等の登録の関係で、他人の情報がひも付けられることが発生している。牧之原市においては、現在のところそういった事例は確認されていない。

## 6月定例会 補正予算の審査

### ○今回の補正予算の主な内容

- ・各種施策における光熱費、物価高騰に対応するための経費
- ・マイナポイント申請期限延長に係る経費
- ・豪雨により被災した地滑り災害の復旧に係る経費
- ・地域おこし協力隊の雇用に係る経費

### 一般会計補正予算（第3号） 意見の反映方法は

RIDE ON MAKINOHARA  
RA誘客キャンペーン業務委託料  
3220万円増額

**問** 事業実施にあたって、関係者からどのように意見聴取し、反映したのか

**答** 宿泊業者に対し、昨年度の各種キャンペーン終了後にアンケート、本年5月11日には意見交換会を実施した。改善の一例として、前回5000人だった対象者を1万人に増やしている。

### 目標とする交付率は

マイナポイント支援業務委託料  
457万4000円増額

**問** マイナポイントキャンペーン第2弾が9月末までに延長されたが、目指すマイナンバーカード交付率は

**答** 国も全ての国民にと考えているので、基本的に全ての国民に行き渡るのが最終目標だと考えている。

### 子どもの状況の確認方法は

保育措置費

205万1000円増額

**問** 措置対象となっている子どもの状況はどのように確認しているか。また対象は何か

**答** 対象となっている子どもの状況については、保育園内や家庭訪問により確認しているほか、警察とも連携している。対象者は1世帯2名である。

### 地滑り災害への対応状況は

公共土木施設災害復旧費  
1億3000万円増額

**問** 準用河川東沢川左岸の地滑り災害について、今後の雨でまた崩れることはないか

**答** 現地に孔内傾斜計を設置し、滑りの動態を観測しているが、応急復旧でコルゲート管等を施工したことが幸いし、現在は動きがない状況である。



東沢川地滑り災害復旧の様子

## 討論

令和5年度牧之原市一般会計補正予算（第3号）

（大石議員）

### 反対

今年5月以降、マイナンバーに関するトラブルが続出している。政府は、今秋までにマイナ総点検と対応を強化するとしている。この間にも不都合や不利益を被る事案が危惧されるが、少なくとも総点検などが終了するまで、個人情報保護の観点から事業者である自治体は、業務を停止する責任があるのではないかと。

（種茂議員）

### 賛成

マイナンバーカードに関しては、さまざまなトラブルが発生していることは事実であり、システムエラーや人為的ミスによる個人情報漏えいは危惧されるところである。しかし、今回の補正予算はマイナポイント申請期間の延長に伴う予算であり、成立しない場合は市民が不利益を被ることになるため、必要な予算であると考える。

## 5月臨時会

# 専決処分に関する議案を審議！

### 議案への主な質疑

専決処分の承認を求めることについて（牧之原市国民健康保険条例の一部を改正する条例）

中間所得者層に配慮することを目的に国民健康保険税に係る賦課限度額の引き上げを行うとともに、軽減対象所得基準額の引き上げを行うもの。

### 限度額引き上げの具体的効果は

**問** 中間所得者層の被保険者の負担に配慮した見直しとの説明であるが、具体的にはどうか

**答** 令和3年所得の試算状況では、後期高齢者支援金分の課税限度額を20万円から22万円へ引き上げたことで、限度額が52万4400円だったものが49万5500円となり、248万4368円が徴収対象になる。

専決処分の承認を求めることについて（牧之原市税条例の一部を改正する条例）

地方税法等の一部を改正する法律により、森林環境税を個人市民税の均等割と併せて賦課徴収するための方法について規定する改正等の措置が講じられたため、これらを受けて市税条例中の関連する規定の整備を行うもの。

### 森林環境税についての評価は

**問** 森林環境税について、この制度をどのように評価しているのか

**答** カーボンニュートラル、災害防止が大きな目的であり、森林の整備、それと国内産の木材の使用などが推進されるというところで、牧之原市にとっても非常に意味のある制度だと考えている。



森林環境税の一部が使われ、行われる勝間田城跡での森林環境学習の様子

専決処分の承認を求めることについて（令和5年度牧之原市一般会計補正予算（第2号））

4911万4000円を増額し、予算額を227億8164万4000円とするもの。



物価高騰への対策となる給付金で低所得の子育て世帯への支援を

「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」に対する認識は

**問** 特別給付金の支給について、同様の給付がされてきているが現状の認識はどうか。また受給世帯に変化があったのか

**答** 他のセーフティネット支援を相談等に対応して講じていくことが必要。受給世帯については、一定程度同じような世帯が対象になっている。

# 市政を問う!! 一般質問



まつした さだひろ  
**松下 定弘**

質問の様子はこちら  
-動画配信中!-



## 自治会等の今後とデジタル化推進

少子高齢化に歯止めがかからない現状の中、地域コミュニティの弱体化とともに自治会組織の存続に危機感を感じている。地域コミュニティを維持していくためには、今後はデジタル化の推進が必要であると考えることから、本市における見解と取り組みについて伺った。

**問** デジタル技術を活用した再構築についての考えは

**答** 本市における地域コミュニティへの認識は、当市の地域コミュニティは比較的維持されているものの、自治会加入率の低下等により弱体化が進んでいるものと認識している。地域コミュニティは、災害時の共助や子どもの見守り、防犯等について必要不可欠なものであり、祭典やスポーツ大会、美化活動を通じて維持していくことが重要であると考えている。

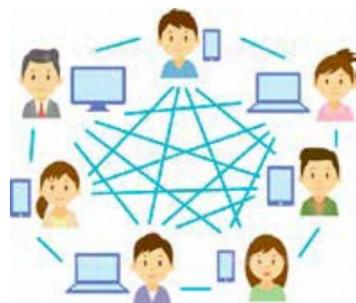
**問** 市内における先進的な取り組みはあるか

**答** 令和4年度に、区の公式LINEを開設し、区民に区のスケジュールやイベント情報、閲覧板のデータなどを提供している区がある。

**問** 安全・安心に暮らせる共助の仕組みづくりについての見解は

**答** 自治会だけでなくNPOや企業等の組織が連携し、共助の仕組みを構築することが重要。絆づくり事業にNPOや企業等の参画を促すことで強化を図っていく。

**答** 総務省の研究会においては、「新たなサービス提供を可能とする手段としてデジタル技術の活用への期待も高まっている」と報告されている。SNS等を活用した地域コミュニティづくりをさらに地域全体に普及し、再構築していくことが有効であると考えている。



**問** 今後の具体的な取り組みは

**答** 市民へのスマートフォンの普及、SNS等の活用を進めていくことで、市や地域の情報の即時提供が可能となる。操作に不慣れな高齢者を対象としたスマホ講座も、令和4年度に引き続き実施できるように調整している。また、県のICTエキスパート派遣事業を活用することで、地域の皆さまが自らホームページやSNS等を活用した情報発信を行う場合に、専門家によるアドバイスやコーディネートを受けることも可能となるので、周知を図っていく。

## ～議決結果と概要～

### ・5月臨時会（全て全会一致）

件名	結果	概要
報告 専決処分の報告について	報告	令和4年12月2日に起きた国道150号静波地内において発生した事故に対して、損害賠償額を定め和解したものの。
専決処分	承認	中間所得者層に配慮することを目的に国民健康保険税に係る賦課限度額の引き上げを行うとともに、軽減対象所得基準額の引き上げを行うもの。
	承認	地方税法等の一部を改正する法律により、森林環境税を個人市民税の均等割と併せて賦課徴収するための方法について規定する改正等の措置が講じられたため、これらを受けて市税条例中の関連する規定の整備を行うもの。
	承認	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度牧之原市一般会計補正予算（第2号））
案内 監査委員の選任について	同意	監査委員に「原口康之」氏を選任するもの。

### ・6月定例会（全会一致のもの）

件名	結果	概要
報告 令和4年度牧之原市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告	6億9,926万5,000円を令和5年度に繰り越すもの。
人事案件	適任	人権擁護委員の候補者の選任について 人権擁護委員に「森田淳」氏を選任するもの。
	適任	人権擁護委員の候補者の選任について 人権擁護委員に「松浦通雄」氏を選任するもの。
変規 変更約	可決	静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について 「南伊豆地域清掃施設組合」を規約に加えるもの。
予補 算正	可決	令和5年度牧之原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 85万円を増額し、予算額を5億7,922万円とするもの。
契約	可決	牧之原市多目的体育館事務用備品の売買契約について 契約金額4,510万円で静和事務機株式会社と契約するもの。
	可決	牧之原市多目的体育館体育用備品の売買契約について 契約金額6,490万円で大沢スポーツと契約するもの。
報告	報告	専決処分の報告について 令和5年4月27日に市道笠名2号線において発生した事故に対して、損害賠償の額を定め和解したものの。
	報告	専決処分の報告について 令和5年4月27日に相良高校敷地内において発生した事故に対して、損害賠償の額を定め和解したものの。
契約	可決	多目的体育館放射線防護対策工事の請負契約について 契約金額1億7,050万円で佐藤工業静岡営業所・鈴木土建による特定建設工事共同企業体と契約するもの。

### ・6月定例会（賛否が分かれたもの）

結果	○：賛成 ●：反対 ※議長（植田）は採決に加わりません												概要						
	石山	谷口	絹村	名波	加藤	木村	松下	種茂	濱崎	原口	太田	中野		大石	村田	植田			
改正 例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	コンビニエンスストア等に設置されている多機能端末機により、印鑑登録証明書を発行する際、本人確認をスマートフォンに搭載された電子証明書でも可能とし、利用者の利便性が向上するよう改正するもの。
予補 算正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	3億7,538万2,000円を増額し、予算額を231億5,702万6,000円とするもの。

※太田議員は6月12日の本会議を欠席しており、人事案件に関する議案の表決に加わりません。なお、欠席にあたっては欠席届が提出され、受理されています。

# 一般質問

ここ数年減少傾向が続いていた特殊詐欺だが、昨年は8年ぶりに増加。最近の手法は悪質巧妙化し、詐欺に加担する若者が増え大きな社会問題になっている。また、マルチ悪徳商法などによる消費者トラブルも増加。若者の被害も年々増えており、これらの対策が必要と考える。



はまざき かずき  
濱崎 一輝

質問の様子はこちら  
-動画配信中!-



## 特殊詐欺と消費者トラブル対策

**問** SNS詐欺対策として、市のLINEやTeaメールに県警のホームページやツイッターのリンクを貼り付けて周知を図っていくのはどうか

**答** 市のLINEなどへのリンクについては検討していきたい。市にはホームページがあるので、そこに県警や警視庁のホームページに飛ぶようにリンクを貼るのは非常にいいことだと思うので、積極的にやっていきたい。

**問** 4年前、市では録音機購入の助成は行っておらず、防犯協会にある20台ほどの録音機器を希望者に1カ月程度貸し出しをしていたが、現在の状況は

**答** 4年前、市では録音機購入の助成は行っておらず、防犯協会にある20台ほどの録音機器を希望者に1カ月程度貸し出しをしていたが、現在の状況は

**答** 貸し出し機器の台数は変わっていないが、貸し出し期間は3カ月に延長している。録音機購入の助成は現在も行っていない。



「ナンバーディスプレイ」  
70歳以上無料に

**問** NTTが5月から高齢者世帯に対して、ナンバーディスプレイなどを無料化するサービスをはじめた。これが浸透していく中で、電話機交換や後付けの機器を購入する人が増えると思うが、改めて購入助成を検討してはどうか

**答** 詐欺電話対策用の機能がついたものは、機種によっては8000円以内で買えるようになってきているので、自助で各自での対応をしてもらいたい。

**問** 特殊詐欺に加担して検挙される若者が増加しており、加害防止対策についても強化していく必要性を感じるが

**答** 若年層がアルバイト感覚で犯罪を敢行することがないよう、警察や関係機関と連携を図り、広報啓発を強化していく。

**問** 義務教育課程から段階的な消費者契約教育を行っていくことで、若者の消費者トラブル減少につながっていくと考えるが

**答** 若者が消費者トラブルに巻き込まれないためにも、学校教育の場において発達段階に応じた、教科横断的な消費者教育を推進していく。



消費者トラブル対策には消費者教育が有効

子どもや高齢者、障がい者が抱えている従来からの課題に加え、社会の変化がもたらした新たな課題（「8050問題」や、「介護と育児の問題を同時に抱える「ダブルケア」、病気の親や兄弟の世話におられる子ども「ヤングケアラー」など）への確に対応していかなければならない。そのためには、地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進が極めて重要である。

**問** 地域福祉計画の推進にあたり、特に、効果として挙げられるものは

**答** 地域包括支援センターや、障害相談支援事業所、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会などの相談支援機関が、世帯丸ごとの相談体制の重要性を認識し、情報共有の場として活用し、対応してきている。我が事として、自分事として捉える人が増加していると認識をしている。

**問** 特別支援学校に在籍する児童生徒との交流や共同学習の実施は

**答** 特別支援学校に通っているお子さんについては、各学校で、どの子なのかということ把握して、交流を進めるようにしている。特別支援学校の先生と、地域の学校の先生とも連絡を密にして、交流を進めていき、地域のお子さんが、同じところで育つ仲間であるということが子どもたちにとり分かるように今後も継続的に進めていきたい。

**問** 人材の育成に対して市の対応方針は

**答** 市民同士のつながりが必要なのか、どういった施策を打っていかばいいのかわかるか、今、検討している。その中で、市民提案制度の取り組みが全国に多くあるが、当市に当てはめてみて、それが効果的に発揮することができるのか、いかに、この牧之原市に取り入れることができるのかを考えている。



勝間田小学校の福祉教育の様子

**問** 予防教育的な不登校対策に関し、その対応状況は

**答** その子に合った教育となのかということ各々で、その子、一人一人を見ながら対応する形で、取り組んでいる状況である。予防的な対応は、視点として非常に大事だと認識している。その辺、強化に努めていきたい。

## 共生社会の実現と地域福祉の推進



かとう あきら  
加藤 彰

質問の様子はこちら  
-動画配信中!-



# 一般質問

当市は、県内でも優良な海岸を有しているが、ここ3年は飲食・宿泊業者および海の関係者はコロナ禍に悩まされ業績も低迷しているという。コロナの感染症法上の位置付けが5類に移行したことで、海開きの日をコロナ禍前と同じ日にしてはどうかと考える。

## コロナ禍明けの海の賑わいと安全

**問** 7月1日からの約2週間、海水浴客の安全確保ができない理由は

**答** コロナ禍により、ライフセーバーの技能講習ができないなど、全国的に人材確保が困難な状況である。

**問** ライフセーバーの委託先との契約内容は

**答** 水難事故防止と安全確保、遊泳可否の助言、警備本部内の管理・運営、監視・救助・救護用具の管理となっている。令和4年度の委託期間は5月30日から9月30日で、金額は1147万3000円。本年度は、委託料として約1200万円を計上している。

**問** 海水浴場の賑わい、イベント等についての考えは

**答** ビーチサッカー大会、キッズサーフィン教室、ウエルカム花火の打ち上げ、海上花火大会、中日本ライフセービング大会を予定している。引き続き各関係機関と連携して賑わいの創出に取り組んでいく。

## 市の浸水対策について

近年の温暖化等による気候変動は、台風、ゲリラ豪雨等を発生させ、市民の生活、生命、財産を脅かし、当市においても脅威であると考える。

**問** 市に寄せられている水災害対策の要望と進捗状況は

**答** 令和元年の台風19号については、二級河川坂口谷川、勝間田川、萩間川に隣接する自治会からの要望もあり、県が、河床掘削や河川内樹木等の伐採、堤防のかさ上げ、決壊を防ぐための堤防舗装を実施している。令和4

年の台風15号については、勝間田川の河床掘削および対策工法の検討調査に着手し、萩間川については緊急的に河床掘削や樹木等の伐採を行っていただいた。

**問** 市内の主要施設への対策の進捗は

**答** 昨年度に準用河川沢垂川の改修が完了し、本年度からは河口部の樋門整備に着手していく。榛原総合病院や牧之原警察署などの主要な施設の駐車場などの浸水被害防止につながるため、早期完了に向け全力で取り組んでいく。



令和元年台風19号で浸水した榛原総合病院駐車場

きむら まさとし  
**木村 正利**

質問の様子はこちら  
-動画配信中！-



## 区・町内会活動の持続可能性は

牧之原市の人口は、合併当時は52000人だったが、2030年予測で41424人(内高齢者14466人)となっており、10年で10000人以上が減少することとなり、2040年をピークにさらに加速していく。区・町内会活動は、高齢化で活動が困難となるほか、単身・若者世帯の町内会活動への参加が深刻な問題となっており、今後も町内会への加入率が低下し、担い手不足により活動の持続可能性はさらに低下すると予測される。

**問** 区・町内会活動の持続可能性を高めるための施策は

**答** 加入率向上に向けた市民活動を促進する条例を制定する自治体も見受けられる。当市においては、転入手続きの際に市民課窓口で加入を推奨しているが、加入率は10年前に比べて5%減の81%となっている。この状況を地区長会などで共有し、まずは加入促進策のリーフレットを作成し、啓発をしていく。



**問** 負担軽減として、市の担当窓口の一元化の考えは

**答** 現在、地域振興課において、自治会行政連絡会の配布物の削減と資料の電子データでの提供などに取り組んでいる。また、担当部署が分からない場合には取り次ぎを行うなど、今後も自治会役員の負担軽減に向けた取り組みを行っていく。

**問** 自治会に女性登用加算制度を取り入れる考えは

**答** 自治会運営には、女性や若者などの多様な意見が必要であることから、制度の必要性について自治会の皆さまと協議していくとともに、本年度策定予定である男女共同参画推進計画の中で、地域における女性の参画についても協議していく。

**問** 側溝清掃、草刈り等の地域活動に対して、区・自治会に財政的支援の考えは

**答** 毎年各区の道路、河川愛護活動の実施に感謝している。高齢化などによって作業に支障を来していることも伺っており、自治会行政連絡会において行った調査でも同様の結果が出ていることから、財政的支援を含め、地域の皆さまの負担軽減に向けた改善策の検討を進めていく。



自治会による草刈りの様子

# 一般質問

牧之原市が持続可能であるためにはさまざまな課題がある。それらを分析し、的確な対策を立案・実行する必要がある。



ななみ かずあき  
**名波 和昌**

質問の様子はこちら  
-動画配信中!-



## 持続可能な牧之原市のまちづくり

**問** 日本一女性にやさしいまちの推進は

**答** 男女共同参画計画を本年度中に策定予定で、ジェンダー平等、LGBT+Qを含め人権を尊重し誰もが活躍できる施策をめざす。ワークライフバランスに関しては、市独自のハンドブックを作成し啓蒙している。さらに、市内一般企業と連携し女性が働きやすい職場環境づくりを進めていく。

**問** 子育て支援の優位性と今後の拡充策は

**答** 子育てに関する経済的支援として、保険適用後の不妊治療費の助成、妊娠に起因する高血圧、糖尿病等の治療費の助成、市内の産科医療機関の休診に伴う、市外の医療機関へ通う健康診査および出産等に係る交通費の助成、こども医療費助成の拡充、入学祝金の支給を実施している。将来の取り組みは、子育て世帯から要望のある屋内



型の子育て支援施設の整備や、幼児教育・保育環境の充実に向けた保育園等の民営化を進め、子育て支援の充実を図る。給食費の無償化は国の進める「こども未来戦略方針」を注視して検討していく。障がい児の放課後保育や学童保育は受け入れた実績はないが、特別支援学級や通級指導を受けているお子さま、児童を受け入れている。病児保育は実施していないが、急性期を過ぎた回復期にある病後児保育は静波保育園で実施している。0歳児見守り訪問は、出生後4カ月までの全ての児童の自宅を助産師と保健師が訪問している。おむつ定期便はやっていない。

**問** 公式スローガン「RIDE ON MAIN OHARA」の認知度向上策は

**答** 広報紙や観光パンフレット、封筒、市が発行する刊行物など、さまざまな場面で活用している。また、まきのはら活性化センターでは、ポロシャツやTシャツ、トートバッグなどを商品化し販売している。今後の目玉として、8月に開催される鈴鹿8時間耐久ロードレース大会に市内チームの出場が決定しており、そこでの活用が予定されている。



牧之原市公式スローガン  
RIDE ON MAKINOHARA  
～夢に乗るまち 牧之原～

熱海市伊豆山地区で発生した土石流災害は、記録的な大雨により、多くの住宅が巻き込まれ、その後の調査で山間部の違法盛り土が崩壊したことが被害拡大の原因とされた。その後公表された「静岡県盛土等の規制に関する条例に基づく不適切盛り土」では、大寄、勝俣、坂部の3カ所が掲載された。全国各地で豪雨による土砂崩れ等による災害が発生している中、市民の不安を払拭し、安全安心なまちづくりに取り組んでいただきたい。



静谷地区の盛土現場

**問** 盛土規制法の中に、溪流につながる盛土の場合には厳しい規制が適用されるとあるが、三栗川が濁っているという声も聞く。「自治体は規制の重複を恐れずに関係法令を総動員して守ってほしい」という国土交通省のコメントがあるが

**答** 法律の趣旨を改めて確認し、必要な対応を取っていく。

**問** 市民が安心して暮らしている「ゼロカーボンシティ」を宣言しているまちである以上、緑を守るという姿勢を持ち、より厳しい許可の審査をお願いしたい

**答** 土地利用対策委員会ですっきりチェック機能を果たして進めていきたい。

なかの やすこ  
**中野 康子**

質問の様子はこちら  
-動画配信中!-



## 残土処分・盛り土に監視の目を

**問** 許可した以上は事業を指導、監視するということはあるかと考えるが

**答** 外に出た際や大雨が予想される際などに担当が現地確認を実施している。

**問** 開発による緑地の減少と、市が宣言した「ゼロカーボンシティ」との整合性は

**答** 森林環境の保全を引き継いでいくことは大切だと思一方で、地域の活性化や経済活動に必要な土地利用事業により、森林の復元や緑地としての植栽の指導をしている。

**問** 令和2年から静谷地区で行われた谷の埋め立てでは、当初は35万m<sup>3</sup>だったがその後23万m<sup>3</sup>と訂正されている。訂正された理由と日付は

**答** 現地で再度詳細な測量をかけた中で、下の土砂の流出を防ぐ堰堤の位置を変えらることによって減少となったという事で令和4年5月に変更の届けが出されている。



盛土事業により伐採された木

# 一般質問

今後20年を見据えた食料・農業・農村政策は、どうあるべきか。1999年の制定から約四半世紀を経た食料・農業・農村基本法の見直しが進められている。当市の現状として、農業人口の減少、耕作放棄地の増加、農業産出額の減額等。農業は牧之原市において、今までも、これからも重要な産業であり、これまでと同じ農業の在り方では困難で、イノベーションが必要。牧之原市の主要な産業である農業、そして基幹産業である茶産業が疲弊すれば、地域そのものの疲弊につながり、地域が成り立たなくなる。未来の牧之原市のためにも、農業をどう守っていくのか。そのための自治体の役割はどうあるべきか、国政の状況、牧之原市の現状を踏まえ、伺う。



静岡牧之原茶HP



農林水産省HP

たにぐち しげよ  
**谷口 恵世**



質問の様子はこちら  
-動画配信中！-



## 市の農業政策にイノベーションを

**問** 茶価の低迷が続いてきているが、茶産業に対する政策と、その効果、今後の基幹産業としての位置づけと支援策は

**答** 茶園の基盤整備事業の推進（8地区、約58ヘクタールの整備が完了し、現在、2地区約32ヘクタール着手）、茶園の再編整備計画の推進（市内4モデル地区）、茶の新規販路開拓（勝海舟「勝茶」を機に大田区と連携）、輸出支援、ブランド確立を図る（伊藤園「おいのお茶杯」連携）、緑茶以外の製品も支援していく。



牧之原大茶園

また、茶は今後も当市の基幹産業であり、今年度見直しの茶業振興計画では、生産者の声を踏まえ、実行性のある計画とする。

**問** 食料・農業・農村基本法改正も意識しつつ、牧之原市独自の今後の農業政策、また、政策推進のための人材や組織対策（人材への予算を、どのように考えるか）

**答** 食料の安定供給に向けてた取り組み（水田の転作栽培）、環境配慮の持続可能な農業の推進、道の駅では地域農業振興と交流人口・関係人口増加を図り、活性化に繋げる。オーガニックまきは推進事業では、バイオ炭製造・Jクレッジット・早生樹普及・オーガニックビレッジ宣言を検討する。農業政策への組織体制の見直しについては、専門家、経験者を含め、人員不足にも対応し、特別な部隊で推進していく。

おおし かずお  
**大石 和央**



質問の様子はこちら  
-動画配信中！-



## JR東海に説明責任を求めよ

リニア中央新幹線問題の現状について伺う。

**問** 4月20日の国土交通省鉄道局長への要望書、「リニア中央新幹線整備における大井川の水資源及び環境の保全に向けた国の関わりについて」の提出経緯と理由を伺う

**答** 昨年12月19日に国の有識者会議から中間報告が出され、それを踏まえた静岡県の専門部会では、水資源についての議論、検証が堂々巡りとなっている。国家プロジェクトとして進める国が責任を持ち、議論に関与する必要があると考えて、流域10市町首長による要望を提出することになった。

**問** 議論が堂々めぐりというが、環境アセスに基づく議論でありJR東海がきちんと回答していないことが問題。むしろ要望では国がJRを指導するよう求めることが必要なのではないか

**答** JR東海が※A案、B案を確実に履行できるかどうか。未来永劫、国に担保してもらわないと困る。そ

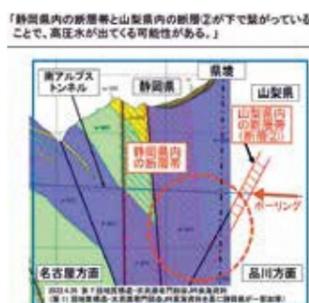
のような意味合いもあると私は認識している。

**問** リニア中央新幹線工事の遅れは、静岡県の責任との声があるがいかがか

**答** これまで静岡県は、流域住民の生活等に必要なた水に関して問題提起をしてきた。JR東海の対応の遅さも工事が遅れている要因であり、静岡県の責任だけではなくと考えている。

**問** 県境に向けた高速長尺先導ボーリングについて、湧水流出の所見を伺う

**答** JR東海は、山梨県内の工事であり、山梨県知事に同意を取って戻すとしており、ボーリング調査により静岡県内の水が失われることはないと考えている。



**問** 先進抗掘削前の調査ボーリングであるが、県境付近の断層には大量の湧水があるとされている。県専門部会ではJR東海に調査や対策の具体が求められている

**答** JR東海は、突発湧水、いわゆる毎秒50リットル以上出たら塞ぐと言っている。そういった議論を私は見守りたい。

**問** 大井川流域10市町の首長は、市民・町民に現状を説明し、意見を聞く機会を設ける義務があると考えられるがいかがか

**答** 静岡県、JR東海、そして国が、異なる見解を示すことにより、流域住民に不安を与えることになる。高速長尺先導ボーリングを実施し、科学的、工学的な議論が深まった段階で、そうした機会を設けたい。

※A案 山梨県内で発生する湧水を先進抗貫通後に大井川に戻す方策  
B案 工事の一定期間、発電のための取水を抑制し、大井川に還元する方策

# 市民から生の声を聞く！

- 【テーマ】
- ・沿岸部の活性化
  - ・空き家(空き店舗)の活用と商店街の活性化
  - ・有機農業(オーガニック)の推進について
  - ・その他(新たな食文化、女性が起業しやすい環境づくり、牧之原茶の販売促進、ふるさと納税返礼品のアイデア、「意次くん」の活用戦略等)

【開催日】  
令和5年6月28日  
【参加者】  
相良高校生

総務建設委員会  
×  
相良高校生



意見交換の様子

総務建設委員会では、「持続可能なまちづくりについて」というテーマの下、調査研究を行っています。

今回の市民会議は、委員会の調査研究の一環としてだけではなく、相良高校の地域密着型の人材育成プロジェクト「SCH」や、探究活動に取り組む生徒の地域課題の発掘と地域社会とつながるきっかけづくりになることも目的に開催しました。当日は、若者目線からのアイデアが数多く提案されました。

今回頂きましたさまざまなご意見を参考に、市長への提言書の提出に向けて、今後調査研究を進めていきます。

文教厚生委員会  
×  
相良高校  
サーフィンサークル

【開催日】  
令和5年6月21日  
【参加者】  
相良高校サーフィン  
サークル部員

- 【テーマ】
- ・サーフィンサークルに入ってきたきっかけ
  - ・実際にサークル活動をして感じていること
  - ・幼少期からサーフィンに触れる機会を設定することについてどう思うか

文教厚生委員会では、「人口増加に繋がる魅力ある子育て施策について」というテーマの下、調査研究を行っています。



意見交換の様子

今回の市民会議は、全国に誇れる牧之原市の魅力であるサーフィンを活用した子育て施策を大きな柱の一つにするために、実際にサーフィンを行っている生徒から生の声を聴くことで、今後の調査研究に生かしていくことを目的に行いました。当日は、サークルに入ったきっかけや、活動して感じる点、幼少期からサーフィンに触れる機会の設定などについて、率直なご意見を頂きました。

今回頂いたご意見や課題を参考に、9月に提出を予定しております市長への提言に向けて、さらに調査研究を進めていきます。

## 一般質問

市議会議員として活動してきた中で、市の財政状況とその運営について深く理解し、市民のためにより良い政策提案を行うことが重要だと感じている。牧之原市が総務省に提出している指標から見ると、市の財政状況は安定していると考えられる。しかし、行政側からは頻繁に「お金がない」というフレーズを耳にする。これらの指標と行政側の発言との間には一見矛盾があるように感じるため、一般質問にて取り上げる。



いしやま かずみ  
石山 和生

質問の様子はこちら  
-動画配信中！-

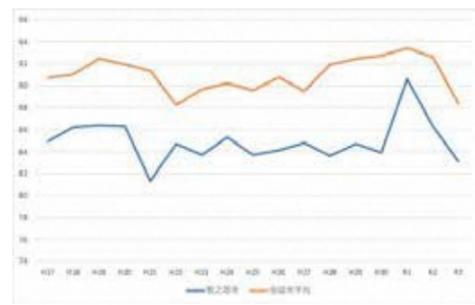


## 牧之原市の財政について

**問** 過去、そして現在の財政状況について、どう評価しているのか

**答** 合併当時の最悪の状況は脱し、比較的良好な状態であると判断している。しかし、今後大規模事業の予定があることや、直近に実施した市債の返済が始まること、また、交付税措置が高くなり、大変有利である合併特例債が終了することなど、決して楽観視できる状況にはないと認識している。

**問** 楽観視はできない状態であることは理解できた。しかし、経常収支比率などの総務省に提出している指標を客観的に見ると、牧之原市は全国の市の平均と比べると良い状態と見て取れる。この理解は合っているか



**答** そのような理解で問題ないかと思う。

**問** 市の財政状況を大きく改善した、大きな要因は合併特例債があったこと、ということも理解できた。この合併特例債が終了するのと、この点だが、財源確保の方針はあるか

**答** 自分たちが自由に使える財源を生み出していくというのが重要。企業誘致や人口増を目指すための事業に取り組んでいるところである。

**問** 民間へのDXとして電子契約の導入を検討する考えは

**答** 電子契約サービスを導入することで、事務の迅速化や、印紙代等コスト削減などの効果が考えられる。導入にあたっては、関係例規の改正や業務フローの変更、事業者向け説明会の実施など、準備期間も必要となるので、県、周辺市町の動向を注視しながら検討する。

## 牧之原市のDXについて

牧之原市はDXを進めると伺っている。民間に対してのDXとして、ほかの自治体では電子契約の導入が進められている。

## ○その他の質問 外国籍住民相談窓口 の活用について

# 視察研修報告

文教厚生  
委員会

7月25日 島田市 焼津市  
こども館 ターントクルこども館

島田市こども館

島田市こども館は、こどもの居場所を整備し、子ども・保護者・家族と多世代が集まることで中心市街地に新たな賑わいを創出することを目的に、平成24年8月に開館しました。

当該施設では、デンマークの最新体育理論に基づいて開発されたポーネルド社の大型遊具が採用されており、乳幼児から小学生までが年代にあった様々な遊びができるよう、「静」と「動」にエリアを分ける等の工夫がされています。また、一時託児や児童館機能も備えており、ファミリー・サポート・センターの事務局も設置されています。

ターントクルこども館(焼津市)

ターントクルこども館は、こども図書館「やいづえほん」と、「焼津おもちゃ美術館」が併設された施設で、集い・遊び・学びを基本理念に、子どもを中心として幅広い世代の人と地域をつなぐ多世代交流連携拠点として、令和3年7月に開館しました。

「やいづえほん」は、絵本を通じて新たな世界と出会えるライブラリーをコンセプトに、図書館法に基づかない、声を出して親子で読み聞かせができる図書館です。「焼津おもちゃ美術館」は、木のあたたかみを感じながら遊べる木製の玩具や、焼津の伝統文化・産業をモチーフにした空間デザインやオリジナル遊具が導入され、魅力ある体験の場となっています。



ターントクルこども館では玩具を使いさまざまな体験ができる

実際に子育て世帯が利用している姿を目の当たりにし、このような施設の大切さを肌で感じる事ができました。今回学んだことを今後の調査研究に生かしていきます。  
(文教厚生委員長 中野康子)

## 議員視察

7月3日 御前崎市 浜岡原子力発電所

浜岡原子力発電所

令和5年7月3日に浜岡原子力発電所を視察しました。当日は、原子力館にて現在解体撤去作業が行われている1、2号機の廃止措置の状況について概要説明を受けた後、実際の現場視察を行いました。また、解体作業中に出た廃棄物を再利用する「クリアランス制度」の説明を受け、それらが搬出されるまで保管される搬出待ち倉庫の視察も行いました。議員からは、「万が一、廃棄物から規定以上の放射能が測定された場合の対応は」等の質問が出されました。

用語解説

※クリアランス制度

放射線管理区域内で発生した廃棄物等のうち、放射線物質による汚染が極めてわずかなものは、国の認定を受け、一般廃材と同様に再利用することができる制度



クリアランス物搬出待ち倉庫で説明を受ける様子

## 国に対し要望を行いました!

令和5年5月22日に、市長、沿岸部の区長、地元選出国會議員などとともに、市議会を代表して植田議長、村田副議長、太田総務建設委員長、名波総務建設副委員長の4人が、農林水産省(対応:勝俣孝明副大臣)及び国土交通省(対応:豊田俊郎副大臣)を訪問し、要望活動を行いました。要望事項は以下のとおりです。

- 農林水産省:地頭方漁港海岸における海岸保全施設の整備促進について  
地頭方漁港海岸の海岸保全施設の整備は、背後地に居住する住民の生命と財産を守る重要な施設であることから、早期の整備完成について、引き続きの予算確保を要望した。
- 国土交通省:牧之原市内 津波対策施設の整備促進について  
津波対策施設は、市民の生命・財産を守る重要な施設であることから、相良片浜海岸・相良須々木海岸・相良新庄海岸・榛原港海岸・相良港海岸における堤防かさ上げ工事についての予算確保、整備促進を要望した。



勝俣農林水産副大臣と



豊田国土交通副大臣と

## 議会報告会を開催します!

10月6日(金)

時間:午後7時~午後8時30分  
場所:さざんか 2階会議室

10月13日(金)

時間:午後7時~午後8時30分  
場所:史料館 2階ホール

### 第1部 議会活動報告

- ① 令和4年度決算審査報告
- ② 各常任委員会活動報告

### 第2部 意見交換

議会改革特別委員会活動報告  
テーマ:議会報告会の改善  
:議会への市民参加のあり方

議会HPへはこちらから



昨年行われた議会報告会の様子

事前の申し込みは不要です。  
お誘いあわせのうえ、ぜひお越しください。  
また、録画配信も行う予定です。

# 5月臨時会で新たに選任（当選）されました！

## ○監査委員

「監査委員」に原口康之議員が選任されました。  
 ※監査委員に選任されるにあたり、総務建設委員会副委員長を辞任しています。



## ○議会運営委員会委員

「議会運営委員会委員」に、名波和昌議員が選任されました。  
 ※総務建設委員会副委員長にも就任しています。



## ○一部事務組合議会議員

「吉田町牧之原市広域施設組合議会議員」の選挙を行い、大石和央議員が当選されました。



※現在、市議会においては1人の欠員が生じていますが、公職選挙法の規定に基づき、任期満了までは15人で活動していくこととなります。なお、議員の欠員数が議員定数の6分の1（牧之原市議会においては2人）を超えた場合等は補欠選挙が行われます。

## 永年勤続表彰

「第99回全国市議会議長会定期総会」「第106回東海市議会議長会定期総会」において大石和央議員が、「永年にわたり議員として地方自治の振興に尽くした功績」により表彰されました。

## 議会を傍聴してみませんか

### 9月定例会の日程

- 9月1日（金）提案説明
- 11日（月）通告質疑
- 14日（木）一般質問
- 15日（金）※19日は一般質問者数が13人以上の場合
- 19日（火）
- 29日（金）審議・採決



※決算連合審査会 9月20日（水）、21日（木）、22日（金）  
 ※補正予算連合審査会 9月25日（月）

## もっと市議会を知ろう！

### 傍聴する

市議会で行われている会議は全て公開です。



### 録画配信を見る

一般質問はいつでもご覧いただけます。



牧之原市 議会中継  ← クリック



ホームページで本会議や委員会の会議録を見ることができます。

## 今号の表紙

### 【細江保育園 夏まつり!】

自分たちが作った夏祭りの看板・ちょうちんと一緒に「はいチーズ!」。  
 毎年楽しみにしている夏祭り。看板は、涼しげなあさがおをにじみ絵で作って飾りました。

### 編集後記

令和5年6月定例会が閉会し、今号では質疑等について詳細に掲載しております。現在、常任委員会では、それぞれ「持続可能なまちづくりについて」（総務建設委員会）、「人口増加に繋がる魅力ある子育て施策について」（文教厚生委員会）というテーマの下、調査・研究を行っております。調査・研究の結果については、9月定例会において政策提言書として市長に提出する予定です。（原口）

### 議会広報特別委員会

- 委員長 原口 康之
- 副委員長 種茂 和男
- 委員 加藤 和彰
- 名波 和昌
- 絹村 智昭
- 石山 和生